



2011～2012年度 テーマ Reach Within to Embrace Humanity

— ころの中を見つめよう 博愛を広げるために —

2011～2012年度 R.I.会長 カルヤン・バネルジー (インド・バピRC)

SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会 長・梅村 良輔 幹 事・田中丸善弥
事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 23 年 10 月 22 日

第 3,000 回例会

NO 16

《本 日》会員数 75 名 (出席免除会員 25 名)・出席 64 名・免除者欠席 1 名・欠席 10 名・ビジター 8 名 ・出席率 85.33 %

《前々回》会員数 75 名 (出席免除会員 25 名)・出席 49 名・免除者欠席 11 名・欠席 15 名・メイクアップ 15 名・修正出席率 100.00 %

第3000回記念例会 ～60年の歴史と共に～



於：九十九島観光ホテル

佐世保東RC、佐世保北RC、佐世保中央RC、佐世保東南RC、HTB佐世保RCの会長・幹事の皆様。他各クラブよりご参加いただきました皆様。最後に我が佐世保ロータリークラブの名誉会員 海上自衛隊佐世保地方総監 加藤耕司様、陸上自衛隊第3教育団長 藤田 穰様。会員並びにご夫人方。これだけ多くの皆様にご出席を賜り、誠にありがとうございました。

本日の例会はほぼ通常通りでございますが、卓話をパストガバナーの安部直樹様と、台南RCパスト会長 莊煌山様をお願いいたしております。ご期待ください。

1951年3月に認証されました我が佐世保ロータリークラブは、昨年度創立60年を迎え、数々の奉仕活動を展開して参りました。本年度は61年目を迎え、次なる70周年に向けて第1歩の年でございます。そこで「70年への第1歩 足元を見つめて」を今年度の当クラブのスローガンとして掲げ、クラブ運営をさせていただいております。(足元＝原点、基本、自身を見つめ直す etc.の意味)

ご臨席の皆様方には、今後ともどうぞよろしくご指導ご協力のほどお願い申し上げます。

最後に、本大会の準備をいただきました会員皆様のご努力に対しまして、厚くお礼申し上げます。有り難うございました。

会 長 挨拶

会長 梅村 良輔さん

いよいよ「佐世保ロータリークラブ第3000回記念例会」が始まりました。姉妹クラブの台南ロータリークラブからは蔡横松 (Tsai, Heng Sung) 会長、蔡宗欣 (Tsai, Chung Chin) 第3470地区ガバナーはじめ、メンバー、ご夫人方、総勢31名のご臨席を賜りました。ラホヤロータリークラブからは、Charles Hartford 幹事をはじめ、メンバー3名のご臨席を賜りました。

第2740地区からは、中野哲生地区幹事、第5グループからは山本浩平ガバナー補佐をはじめ、平戸RC、佐世保西RC、北松浦RC、松浦RCの会長・幹事の皆様。第6グループからは坂井智照ガバナー補佐をはじめ、佐世保南RC、

例会記録

○ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」

○ゲスト

国際ロータリー第2740地区

第5グループガバナー補佐 山本 浩平 さん

第6グループガバナー補佐 坂井 智照 さん

地区幹事 中野 哲生 さん

台南ロータリークラブ

会長 蔡 横松 さん
(Yoko)

Yoko令夫人 陳 光彩 様

ガバナー D3470總監 蔡 宗欣 さん
(DG Ginseng)

DG Ginseng令夫人 劉 秀娥 様

前總監(2004-05年度) 陳 俊 栄 さん
佐世保姉妹社主委 (PDG Computer)

PDG Computer令夫人 黄 華玉 様

前社長(1991-92年度) 嚴 俊雄 さん
(Lawyer)

Lawyer令夫人 嚴 郭貴美 様

前社長(1995-96年度) 莊 煌山 さん
(Leada)

Leada令夫人 魏 淑卿 様

前社長(1996-97年度) 林 世福 さん
(Case)

前社長(2003-04年度) 蘇 明輝 さん
(Bronco)

Bronco夫人 林 玟娟 様

前社長(2008-09年度) 黄 富雄 さん
(Tomi)

Tomi令妹 黄 久子 様

Tomi令妹婿 石 柏仲 様

Tomi令妹 黄 美華 様

Tomi令妹婿 蘇 鈞煌 様

前社長(2010-11年度) 陳 高山 さん
(Camp)

Camp令夫人 陳 盧瑞香 様

第二副社長 周 亮宏 さん
(E.S)

E.S.令夫人 侯 美娟 様

社長當選人Account令夫人 方 鑾瑛 様

Account長子 蘇 俊 璋 様

岡山西姉妹社主委 林 振欽 さん
(Tweed)

Tweed令夫人 洪 靜 雯 様

會計 吳 志夏 さん
(Summers)

Summers千金(令嬢) 吳 秀真 様

社員 林 永豐 さん
(Richard)

Richard令夫人 陳 淑貞 様

事務局員 蔡 家華 さん

La JOLLA ロータリークラブ

幹事 Charles W. Hartford さん

Kevin Quinn さん

Hiroshi Yoshida さん

第5グループRC

平戸ロータリークラブ 会長 川上 岩三 さん
東 義治 さん

佐世保西ロータリークラブ

会長 西浦 隆洋 さん

パスト会長 岩崎 邦臣 さん

北松浦ロータリークラブ

会長 福田 敏幸 さん

直前会長 前田 治伸 さん

松浦ロータリークラブ

副会長 朝永 春郎 さん

幹事 山下 隆 さん

第6グループRC

佐世保南ロータリークラブ

会長 中村 文昭 さん

副会長 木下 茂之 さん

佐世保東ロータリークラブ

会長 西畑栄一郎 さん

幹事 須崎 満弘 さん

佐世保北ロータリークラブ

会長 中島 閏二 さん

佐世保中央ロータリークラブ

会長 田代 博之 さん

幹事 八重野一洋 さん

佐世保東南ロータリークラブ

会長 池田 正喜 さん

幹事 大野 満也 さん

ハウステンボス佐世保ロータリークラブ

会長 小島 隆志 さん

幹事 加城 一成 さん

○ビジター

佐世保南ロータリークラブ

直前会長 鶴田 司さん
会長エレクト 馬郡 謙一さん

佐世保西ロータリークラブ

SAA役員 富村 健さん
平戸ロータリークラブ 安部 重幸さん
小田 計吾さん
貞方 正一さん
塩澤 恒雄さん
墨谷 泉さん

○佐世保ロータリークラブ名誉会員

海上自衛隊佐世保地方総監 加藤 耕司様
令夫人 加藤 直子様
陸上自衛隊第三教育団長 藤田 穰様
海上自衛隊佐世保地方総監部
副官 芦原 裕治様

幹事報告

幹事 田中丸善弥さん

台南RC 第3470地区 蔡宗欣 ^{ガバナー} 総監より本年度のロゴ入りネクタイをいただきました。ありがとうございました。

卓話

【第1部】

『佐世保ロータリークラブ
60周年の歴史』

会員 安部 直樹さん
(学校法人九州文化学園 理事長)



本日は、佐世保ロータリークラブ第3000回記念例会と相成りました。一言で3000回と言いましても、1年に50回として60年の歳月がかり到達するものですから、並大抵のことではありません。

佐世保ロータリーの歴史の歳月が今年、ちょうど還暦。60年の節目の年であります。1500回例会は1980年、2000回例会は1990年、そして2500回例会は2001年に開催され、松尾弘司、

松尾恒司、中村克介会員がそれぞれ会長を務められました。当時の週報を持参しましたが、1500回は9月10日に、2000回と2500回は観月会と同時に行われ、2500回は武井ガバナーの時でもあります。こうした資料は全て福田氏に作って頂きました。現在は、梅村良輔会長。やはり節目の会長は、人品骨柄は円満にして有為、人徳の高さが評価される人ばかりです。この60年の記念すべき例会に参加出来たこと、それはもう奇跡の邂逅とも言うべき本日の出遭いを共に喜び、感謝したいものです。

ご承知のように本クラブは1951年、戦災の傷跡の残る時代に、日本で54番目(現在2,309クラブ)、世界で7745番目(33,000クラブ)、長崎県では2番目、24名のチャーターメンバーで始まりました。その中には、田中丸、安福、梅村会員のお父様もいらっしゃいました。多くの会員が本クラブに貢献をされましたが、特に私の印象に残っておりますのは、当時、親和銀行の頭取をされておりました坂田重保会員が、佐世保RCのロータリー財団・米山記念奨学会への寄付活動に尽力され、寄付額は全国でもトップクラスだったこと、また、富永猪佐雄会員が、本クラブで最初のガバナーを務められたことです。1969年当時は、福岡までを含めたテリトリーで、クラブ数は56クラブとほぼ今の地区と同じでしたが、地区の規模は大きい時代でした。

さらに、友廣嘉久会員は、台湾の台南ロータリークラブとの姉妹クラブ締結に力を注いで頂きました。台南ロータリークラブとのご縁ですが、当時の会員であった松永市郎さんが、昭和6年、13歳の時、台湾の病院に入院した際、懸命に看護に携わった看護師の許氏淑(シーシーシュウ)さんを40年ぶりに捜し出して下さったのが台南ロータリークラブの方々でした。当時、許氏淑さんは澗湖島水産専門学校教授夫人で6児の母として幸福に暮らしていましたが、交通事故で片足を切断。その折の執刀医が台南ロータリーの蘇銀河パスト会長で、佐世保RCに最大の好意を寄せて頂いた傅再生パスト会長のもと、それを縁にして1970年に姉妹クラブを締結し、40年間、親交を深めてきました。

加えて、1986年、アメリカのラホヤロータリークラブとも姉妹締結をいたしました。本年60周年の記念式典の招待の為に、池田 豊 会員他5名の方が昨年9月、ラホヤRCを訪問しましたが、東日本大震災で60周年式典は中止、池田パスト会長は何が何でも60周年にラホヤの皆さんを呼びたいと、退会届をちらつかせながら呼ばれました。こうしたラホヤに対する友情の気持ちが姉妹クラブの継続にもつながってくるのです。池田会員、ラホヤの方々に来て頂き本当によかったですね。本日は、この2クラブからわざわざご出席いただいております。心より感謝申し上げます。

ロータリーは、人と人との出会いの場です。人が歴史を作り、文化をそして地域や国を作っていきます。その為の出会いが、この例会にごぞいます。例会の開催が重なる度に、歴史、文化、地域がさらに深く、豊穡になっていくのであります。

1962年、佐世保ロータリークラブは、国際青少年交換事業として、オーストラリアへ2名、1年間派遣いたしました。この事業は、日本で初めての実施でした。また、ライラを当地区で最初にホストしたのも本クラブであります。今から30年ほど前、1980年に2泊3日で、西彼飯盛山「親和の森」にて行いました。私も菅沼宏比古会員のお父様と一緒に参加し、若者を育てる意味を示唆して頂きました。

60年の歳月の中、私どもがスポンサークラブとなり、佐賀、佐世保南、大村、平戸、有田、北松浦、佐世保西の7つのクラブが誕生いたしました。佐世保ロータリークラブは、多くのロータリアンを輩出してきたのです。

東日本大震災に伴う原子力発電所の事故という未曾有の災害。加えて、円高や長期の経済不況、又、人口減少と少子高齢化、年金などの社会保障制度がどうなるのか、国の累積債務残高は1000兆円を超え、国家の破綻すら叫ばれています。J.M.ケインズが「雇用・利子および貨幣の一般理論 (The General Theory of Employment, Interest and Money)」で「不活動よりは活動に駆り立てる人間本来の衝動」と記した、アニマルスピリット、それは人間の活動をもたらす原動力であります。日本から希望が失われて久しいと言われますが、そ

れはアニマルスピリットの喪失を意味します。バブル経済崩壊後の散々な失敗や、中国、韓国などの台頭に萎縮し、諦めムードが社会に蔓延しています。かつてささやかれた「勝ち組、負け組」という言葉もすっかり聞かなくなりました。今、こうした時代にアニマルスピリットを保持する諸団体は、ロータリーではないでしょうか。

確かに1993年の最盛期には佐世保ロータリークラブの会員は113名で、今は75名。全国的にも1996年には13万人を超えていたロータリアンは、今10万人を切っています。しかし、ロータリーの100年を超える歴史の中で、第一次世界大戦ではロータリーの平和の理念と、戦争へ参戦することの矛盾にロータリーは悩みました。1919年の世界大恐慌、クラブは例会に弁当を持参、会費を節減し「ダイエット中」という口実で食事を抜く会員も多かったそうです。多くのクラブは例会場を高級レストランやホテルから地下室、公民館に移し、手伝い役の夫人がつつましい食事を用意しました。そして1933年のドイツ ヒットラーより、ロータリーの排斥を受けた第二次世界大戦の三つの危機を、ロータリーは見事に乗り切ったのであります。

今、日本の衰退は否めず、若者の将来の夢も語る事が難しくなりました。60年の歴史の中で現在の日本を取り巻く環境は厳しくなるばかりです。だからこそ、ロータリーの力が大切なのではないのでしょうか。ロータリーの会員の持つアニマルスピリットが日本再生の原動力になっていきましょう。

人が生きるということは、誰かに借りをつくること
そして、その借りを返していくこと
誰かにそうしてもらったように
誰かにそうしてあげよう
人が生きるということは
誰かと手と手を握ること
そして、その手のぬくもりを忘れないでいること
めぐり逢い、愛し合い
そして、別れの日 悔やむことのないよう
今日を明日を生きていこう
人は一人で生きていけない
人は一人で歩いて行けない

第3000回の記念例会は文字通り、明日へ向かった未来への架け橋、未来の希望への出発でありましょう。感謝と出会いの喜びを満たした懇親会になることを心より祈念いたします。

—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*

【第2部】

『未来を教えてください 過去の思い出話』

台南RC

パスト会長 莊煌山さん



梅村会長、佐世保ロータリークラブ、ラホヤロータリークラブ、及び台南ロータリークラブの皆様今晚は。お久しぶりでございます。台南クラブのLEADA 莊煌山でございます。どうぞよろしく。

本日、佐世保ロータリークラブ創立60周年及び第3000回記念例会、おめでとうでございます。

今夜、私の話のテーマは、「未来を教えてください過去の思い出話」でございます。過去遠く、又、多くの記憶から意味のある五つの思い出を持ち出して語りたいと思います。

私が台南ロータリークラブに加入したのは、29年前の事でした。入会后間もなく、佐世保ロータリークラブの連絡窓口に着目され、それからずっと5年前まで両クラブの連絡窓口を務めてきました。今夜、私は両クラブ、過去数十年間の交流につきまして、懐かしく、又、意味深い思い出であります幾つかの出来事をピックアップして語りしたいと思います。

台湾には、「思い出は人生の行方を教えてください」と言う諺がございます。ですから、今夜の思い出話が両クラブ将来の歩みの良いお手本になり、両クラブの絆がより一層増進できれば、私は最高の幸せと思います。

第一つ目の思い出話です。私は「波止場の別れ」と名付けました。時は16年前、貴クラブの創立45周年記念式典でした。式典行事は終わり、翌日は平戸へ移るスケジュールでした。当時、平戸への出入りは皆、船に頼っておりました。翌日の午前中、佐世保クラブの

見送りメンバー達と僕等はハウステンボスの波止場に集まり、握手と挨拶をすませ、僕は船のデッキに上り、間もなく船が動き出しました。岸壁のお別れです。皆は手を振り、ハンカチを振り出しました。その途端、私は岸の前方左側に一人の見送りメンバーがハンカチで目を拭いているのをキャッチしました。私は急いで皆に知らせました。すると騒がしい声が急に静かになり、皆は岸のその方に注目し、僕等は感動で胸が一杯になり、目が熱くなりました。一方、船はスピードアップし、僕等は岸の友人達が見えなくなるまで、懸命に手を振り、佐世保を後にしました。(その岸壁前方左側の貴クラブメンバー、今夜も同席して居られます。私、台南クラブを代表し、心から最高の敬意を表します。)

第二つ目の思い出話は、「美しい夜景を見て、人生の短さを嘆く」というタイトルです。佐世保ロータリークラブ創立45周年記念式典でした。場所はJR全日空ホテルです。式典と宴会は終わり、二次会として、両クラブの多くのメンバーはホテルのトップフロアのコーヒーショップに集まりました。お話をスタートしたのは、両クラブの先輩であります友廣先生とAPO 傳さんでした。二人の年齢を足せば150以上になります。この時、コーヒーショップのガラス張りの外側は、近くにハウステンボスのネオンが見えて、遠くは小さい島々のイルミネーション、それに星の煌めく夜空です。先に聞こえたのは、友廣先生の声でした。毎度記念式典が訪れる度に、心の中では、又、台南クラブの友人達と逢えるのを楽しみにして居りますが、一旦皆さんが見えたと、誰それが亡くなりました。又、誰それが病床に就いているとの事で、待ちに待った心の楽しみは急に冷めて、続いて湧き上がるのは辛い、悲しい気分になり、人生は本当に寂しくて辛いですね、と嘆きました。すると、台南クラブのAPO 傳さんは、台南クラブ最近の状況ですと、年に約2人の高齢者が亡くなって居り、5年に1回の佐世保訪問ですと、約10人位減ることになります。又、友廣先生の懇意の友人ですと、年配者が多いから1回来る度に数人減

るのは正常です。すると、友廣先生が話を続けました。「この調子ですと、5年後の式典には僕等二人は又逢えるでしょうか？」友廣先生のこの問題に対し、周囲から何一つ答えは聞こえませんでした。間もなく二人の先輩は溜息をしながら、外の美しい夜景をじっと眺め、人生の短さを嘆いておられたのではないのでしょうか？傍らにいる後輩の私達も同じく黙って一緒に外の夜空を眺め続けました。そして5年後の記念式典に二人の先輩は果たして逢えましたでしょうか？答えはNOでございます。二人とも5年内に相次いでお亡くなりになりました。

第三つ目の思い出話のタイトルは「故人の冥福を祈る」でございます。

続いては、佐世保の50周年記念式典でございます。台南ロータリークラブの訪問グループが出発の前に、貴クラブの連絡で友廣先生がご逝去されました。皆はがっかりでした。佐世保のホテルに着くと私は早速一行の家族を除く全部のメンバーを連れて、友廣先生のお家を訪れ、私は代表として線香とお花を祭壇に捧げ、先生の冥福を祈り、また、ご夫人に慰めを励ましの言葉を残し、ホテルに引きあげました。この日はずっと小雨でした。

第四つ目の思い出話です。「南国の墓参り」でございます。舞台は台湾に移ります。台南ロータリークラブの創立周年記念式典でした。来る式典の1ヵ月前に当クラブの先輩APO 傳さんがお亡くなりになりました。貴クラブの連絡では、台南滞在中にAPO 傳さんのお墓参りをしたいとの事です。それで皆様が台南に着いた当日、私はバスで皆を連れて台南郊外のキリスト教徒墓地へ参りました。皆様は一人1本の白菊の花を墓に捧げ、ホトケの冥福を祈り、南国のお墓参りでございました。当日の天候は曇りでした。

第五つ目の思い出話は「ハウステンボスの見学旅行」でございます。

台南の地理環境は海に接し、河川と運河が陸上と海をつないで居ります。それで台南市政府（市役所）の市長と局長達はハウステンボスの運河と陸上の水利施設は台南の建設に

良い参考になるとの事で、又台南ロータリークラブと佐世保ロータリークラブが姉妹縁組であると聞いて、当クラブに中間交渉を依頼に來ました。私は早速、貴クラブと連絡を取り、遂にハウステンボスの承諾を得ました。それで私は台南の張市長並びに数名の局長達を連れ、佐世保にやってきました。一行は先に佐世保市長を訪問挨拶し、続いてハウステンボスを訪れ、ハウステンボス社長は親切に、長い時間付き合ってくれて、詳しい説明をしてくれました。夜は佐世保ロータリークラブの歓迎晩餐会に出席し、素晴らしい佐世保と台南両地の交流でありました。この交流は、台南の4キロの長さに渡る台南運河の臭水浄化及び市内の下水施設に役立つよう、期待しております。

今夜、私の思い出話はこの位で終わらせて貰います。重ねて申しあげますが、この思い出話が今後、両クラブの歩みに役立つよう、心から期待して居ります。有り難うございました。

又、消息としてお伝えしたいのは、当クラブでこの3ヵ月内に3名の長老がお亡くなりになりました。ART、SPORTS、それにDRAGONでございます。ARTさんは有名な画家で、友廣先生の肖像をお描きになった方でございます。SPORTSさんは、大学の教授からリタイヤしたお方です。DRAGONさんは、皆様おなじみの蘇達雄さんでございます。皆一緒に先輩達のご冥福を祈らせて貰います。

この他に、又二つの消息をお伝えしたいと思えます。

一つは当クラブPP ジンセンがガバナーを担当する第3470地区の年会を来年の3月3日と4日に開催しますので、もし貴クラブのメンバーで都合の良い方には、ご来臨いただきますよう、期待して居ります。もう一つは、再来年は当クラブ創立60周年でございますので、同じく皆様のご来臨を心から期待し、くれぐれも宜しくお願い申し上げます。

以上です。有り難うございました。

ごあいさつ

ラホヤRC

幹事 Charles W. Hartford さん



THANK YOU VERY MUCH
I AM HONORED TO BE HERE WITH YOU
TODAY
TO CELEBRATE
A SPECIAL PARTNERSHIP
THE BOND OF ROTARY
AND YOUR 60TH ANNIVERSARY
MY JAPANESE IS NOT AS GOOD AS YOUR
ENGLISH
PLEASE PERMIT ME TO USE YOUR GRACIOUS
TRANSLATOR

皆様、本日はお招き頂きありがとうございます。
私共は、本日ここに出席させて頂き光栄に存じます。
この良き日をお祝い出来ますこと
特に、姉妹クラブとして締結されていること
そして両RCの「絆」
更に貴クラブの60周年の歩みに際して
私共は本日ここに出席する機会を得まして
大変光栄に存じております。
私の日本語は皆様の英語ほど上手くありませんので、
通訳をして頂くことをお許しください。

以上、日本語でのあいさつがあり、その後、
田中丸幹事の同時通訳のもと、英語でスピー
チされました。

IN THE FALL OF 1995 I HAD THE GREAT
PRIVILEGE OF COMMANDING AN ARMY UNIT
AND TRAINING WITH YOUR SELF DEFENSE
FORCES ABOUT THREE HOURS NORTH OF
TOKYO. MY THOUGHTS HAVE BEEN WITH
THEM AND WITH YOU DURING THIS YEAR OF
TRAGEDY AND REBUILDING. I THOUGHT
THEN THAT I WOULD NEVER AGAIN WITNESS
SUCH A SPIRIT OF HOSPITALITY AND
WELCOME. BUT YOU HAVE PROVEN ME
WRONG.

ON BEHALF OF THE ROTARY CLUB OF LA
JOLLA, CALIFORNIA, OUR MEMBERS AND
OUR LEADERSHIP, I EXTEND TO YOU OUR
VERY BEST WISHES AS YOU CELEBRATE 60
YEARS OF SERVICE ABOVE SELF. IT IS OUR
HOPE THAT THOSE BONDS OF SERVICE
GROW EVEN CLOSER- AND STRONGER-
OVER THE NEXT 60 YEARS AND BEYOND.

AS A SMALL TOKEN OF OUR FRIENDSHIP
AND TO REMEMBER THIS SPECIAL
MILESTONE IN THE HISTORY OF YOUR CLUB,
IT IS MY PLEASURE TO PRESENT THIS GIFT
TO YOU.

THE PLAQUE READS: [READ PLAQUE]

THE ABALONE SHELL FROM LA JOLLA COVE
WAS FOUND IN 1880. IT IS INTIMATELY
CONNECTED TO THE SEA- THE SAME WATER
THAT CONNECTS YOUR CLUB AND OURS-
AND SYMBOLIZES HARMONY AND PEACE.
MAY IT BE A SMALL REMINDER OF OUR
ASSOCIATION WITH YOU.

TO YOU AND FOR ALL THAT YOU DO AND
REPRESENT, THANK YOU AND KANPAI!



左より ラホヤRC会員 Hiroshi Yoshida さん
会員 Kevin Quinn さん
幹事 Charles W. Hartford さん

《懇親会 19:30~》

乾 杯 海上自衛隊佐世保地方総監 加藤耕司 様

祝電披露 岩永信昭ガバナーより
朝長則男佐世保市長より

万歳三唱 陸上自衛隊第三教育団長兼
相浦駐屯地司令 藤田 穰 様

解 散

* 次回例会予告 *

10月26日 → 22日に例会変更

11月2日 卓話予定者
新会員 坂本 敏 さん

(今週の担当：久富 洋一)

(カメラ担当：久富 洋一)



ラホヤRCのメンバーと…



台南RCのメンバー、ご家族の皆様と…



佐世保市民管弦楽団
弦楽四重奏



SANDY TRIP ミニライブ

近隣各クラブより大勢のご出席をいただきました。本当にありがとうございました。



クラブ会報委員会

委員長 中村 徳裕
副委員長 有蘭 良太

委員 松本 由昭・大野 高広
久富 洋一・佐藤 丈治